

○「洋上風力発電設備に関する技術基準の統一的解説」 正誤表 (平成 30 年 6 月 20 日)

平成 30 年 3 月 30 日に公表しました「洋上風力発電設備に関する技術基準の統一的解説」(平成 30 年 3 月版)に関し、以下のとおり訂正いたします。

ページ	行	章・節	誤	正
35	—	表 2.1.2.3 長期荷重、地震荷重、津波荷重に関する荷重組み合わせ	状態：長期荷重 波浪： $NSS、H_s=H_{sK,NSS} V_{hub}$	状態：長期荷重 波浪： $NSS、H_s=H_{sI3,NSS} V_{hub}$
75		表-解 3.3.1 NSSにおける風速階級別有義波高、有義波周期出現頻度表の様式例	階級：I3 備考：定格風速 (長期荷重作業時照査用)	階級：I3 備考：定格風速 (長期荷重作用時照査用)
88	14~16	第 3 章 3.7 地盤 (3) 調査位置、間隔	なお、 <u>Guidance Notes for The Planning and Execution of Geophysical and Geotechnical Ground Investigations for Offshore Renewable Energy Developments</u> では、 <u>コーン貫入試験を実施した箇所の少なくとも 10%以上の個所で標準貫入試験とのデータの突合せを実施するのが望ましいとしている。</u>	なお、 <u>IEC61400-3 の記載からは、コーン貫入試験のデータをエリアの代表箇所において実施した標準貫入試験および室内試験のデータとの突合せを実施することが望ましいと考えられる。</u>
付-66 ~67	—	(d) 直接基礎の滑動に対する照査	<u>(d) 直接基礎に滑動に対する照査</u> <u>基礎底面に作用するせん断力が、許容せん断抵抗力以下であることを照査するものとする。</u> ----- (中略) -----	(全文削除)

			<p>なお、ねじれモーメントは直接基礎の滑動安定性に影響を及ぼすため、ねじれモーメントを付加した基礎底面のせん断力を式(9.7)により評価する。</p>	
--	--	--	--	--